

～知をあなたに～

Campus Report

第1回「東大阪市連携 7大学公開講座」の 各講座の概要

記号	講座日	開催時間	大学名	テーマ	講師
A	2月13日(月)	14:00～	東大阪大学	脳と心が生み出す世界	こども学部 准教授 梅田真樹先生
	<p>私たちが実在すると信じてやまないこの「現実世界」は、たった1リットルの脳が作り上げた仮想世界にほかなりません。この仮想世界を現実と呼ぶならば、「心が生み出す世界」もまた現実です。私たちはそんな複数の現実の世界に生きています。そんな「脳がつくる本当のような世界」と、「心がつくる夢のような世界」は、どのようにして生み出されたのでしょうか？そしてそれらの世界は、どこへつながっていくのでしょうか？本講座では、これらの謎について、生命と心の進化の立場から、写真や視覚実験・身近な話題を通して、わかりやすく楽しく解説します。</p>				
B	2月14日(火)	14:00～	大阪商業大学	東日本大震災から ～「忘」災に克つ知をあなたが～	総合経営学部 教授 初谷勇先生
	<p>人生には、心の平安や健全な精神を保つ上で忘れた方がよいこともたくさんあります。記憶に囚われ、新しいことを吸収し前進する力を削がれては百害あって一利無し。記憶に比肩する忘却の力が積極的に評価されるゆえんでもあります。とはいえ、「天災は忘れた頃にやってくる。」東日本大震災から間もなく1年。再び巡り来る「3.11」を前に、改めて「忘」災に克つための知をはぐくみ、分かちあう上で、私たちにできることを考えてみたいと思います。歴史や文化の香り豊かな各地の試みや、ふるさと・家郷に寄せる人びとの想いを織り込んだ政策を点描しつつ、「公共経営」の視点からテーマに迫ります。</p>				
C	2月15日(水)	13:00～	樟蔭東女子 短期大学	人間の生涯にわたる発達 ～人生後半からの充実～	講師 山本沙貴子先生
	<p>長い間、人間の発達は成人までとされてきました。しかし、まだまだ充分ではありませんが、人間は人生の半ば以降も老人期まで、生涯にわたり発達し続ける存在であることが分かってきました。どうしたら充実した老年期を送ることが出来るだろうか？乳幼児期、青年期…と、それぞれの発達の時期がぶつ切りに存在しているのではなく、一本の発達線上最後尾に老人期が存在しているのです。乳児期から老人期までの生涯にわたる発達を考察し、充実した人生の後半を迎えるための一考にできたらと思います。</p>				
D	2月15日(水)	15:00～	大阪産業大学	芸術療法の現在 ～描画法を体験してみよう～	環境学部 文化コミュニケーション学科教授 山本恵子先生
	<p>芸術療法(表現療法)には、箱庭療法・コラージュ療法・描画療法(バウムテスト・人物画テスト・風景構成法など)・造形療法・音楽療法・ダンス療法・心理劇・詩歌療法など、実に様々なものがあります。今回は、描画療法を中心に、現在心理臨床の世界で用いられている方法をご紹介します。そして、実際に描画療法の中からどれか一つを体験学習していただこうと思います。絵の上手下手は問いません。自らの心の世界を理解する一つの手だてとしていただければ幸いです。</p>				
E	2月16日(木)	14:00～	大阪経済法科大学	東日本大震災と日本経済 ～私たちの暮らしはどうなる？～	経済学部 客員教授 岩田年浩先生
	<p>震災と原発事故の悲惨な実態は今なお多くの問題を残しています。震災復興や電力制限の問題、さらには、アメリカの不況(円高ドル安の常態化)とヨーロッパの金融危機の影響が日本にも押し寄せる事態です。被災地での企業は利益を上げるとともに人間同士の協力の意識も強めています。そして、多くの日本人は平常の生活をしています。かなりの底力も感じられます。私たちの暮らしはこういう中でどのように変わっていくのでしょうか。自分の生活をどのように確立して生きていくべきでしょうか。ここでは、世界経済の最新の資料や被災地での取材、政界の動きなどの話題をふくめてお話ししましょう。</p>				
F	2月17日(金)	14:00～	近畿大学	福島第一原発事故と 放射線の人体への影響	原子力研究所 所長・教授 伊藤哲夫先生
	<p>東日本大地震においては、地震と津波により福島第一原子力発電所の全電源が喪失し、その結果、炉心燃料のメルトダウン、水素爆発による建屋の破損によって大量の放射性物質や汚染された大地からの放射線による健康への影響について多くの方々は今不安に思っておられます。そこで、本講座では放射線の人体への影響についてお話しいたします。</p>				